

基本方針2 市域全体での読書環境の整備

基本方向5 就学前施設・学校の読書環境の充実

基本施策⑦ 就学前施設における読書環境の充実

計画該当ページ P36

1. 事業概要

(1)目的・趣旨

こどもの頃の読書体験は未来社会を担うこどもたちの健やかな成長を確かなものにするために必要な要素であることから、就学前施設の読書環境の充実を図るため、司書が選書した就学前施設専用の絵本セットを巡回配本します。季節や行事、赤ちゃん向けなどのテーマ別の絵本を定期的に届けることでこどもたちの読書環境を整えます。

(2)展開方法

- ・図書館の団体貸出を利用して、移動図書館で各施設に3カ月に1回程度巡回
- ・巡回時に、おすすめの絵本のセット「あおばなセット」を貸出

(3)ポイント

- ・令和7年9月から順次配本を開始(11月27日に1巡回完了)
- ・貸出専用カードを作成し、図書館で管理

【参考データ】

市内就学前施設に在籍するこどもの数:5,557人(R7年3月末)

配本冊数:4,300冊

一人当たり0.77冊配本 (4,300冊÷5,557人=0.77冊)

2. 予算(令和7年度)

事業費 2,538千円

«内訳»

消耗品費	502千円
燃料費	18千円
手数料	44千円
備品購入費	1,974千円

3. 今後の予定

令和8年度 新設3施設配本

令和9年度以降 新設施設があれば隨時配本



あおばなブック専用
トートバッグ



あおばなブックセットの例
「赤ちゃんセット」



移動図書館あおばな号

基本方針2 市域全体での読書環境の整備

基本方向6 地域における読書環境の充実

基本施策⑨ 図書館のサテライト機能の充実

計画該当ページ P37

1. 事業概要

(1)目的・趣旨

地域の拠点である地域まちづくりセンター(全14施設)や隣保館(全4施設)にブックトラックを置いて読書ができるスペースをつくるとともに、図書館の本を借りることができたり、移動図書館の巡回を行うことで、地域の身近な場所で気軽に読書ができる場と機会を整えることで、市域全体で読書を楽しむことができる環境づくりを進めます。

(2)展開方法

- ・図書館からまちセンに100冊貸出し、ブックトラックに設置
- ・まちセンから利用者に貸出することが可能
- ・3か月に1回、主に移動図書館(わかくさ号)巡回時に本を入れ替え

(3)ポイント

- ・R7年度の導入は図書館から遠い常盤・老上西・志津南まちセンから行う。(令和7年10月から実施済)
- ・移動図書館の配車ルートの変更(4月・10月)に合わせて巡回ルートに入れることを基本とする。
- ・R8以降も図書館から遠いセンターを基本に、施設の建替え等を勘案しながら順次導入を進める。

2. 予算(令和7年度)

事業費 531千円(図書館分)

«内訳»

消耗品費	71千円
手数料	10千円
備品購入費	450千円

【参考】生涯学習課分 事業費 1,027千円

«内訳»

消耗品費	15千円
手数料	1,012千円

3. 今後の予定

令和8年度以降

地域まちセンおよび隣保館に順次導入予定



図書館サテライト除幕式
(令和7年10月2日)



図書館サテライトの
ブックトラック (100冊)

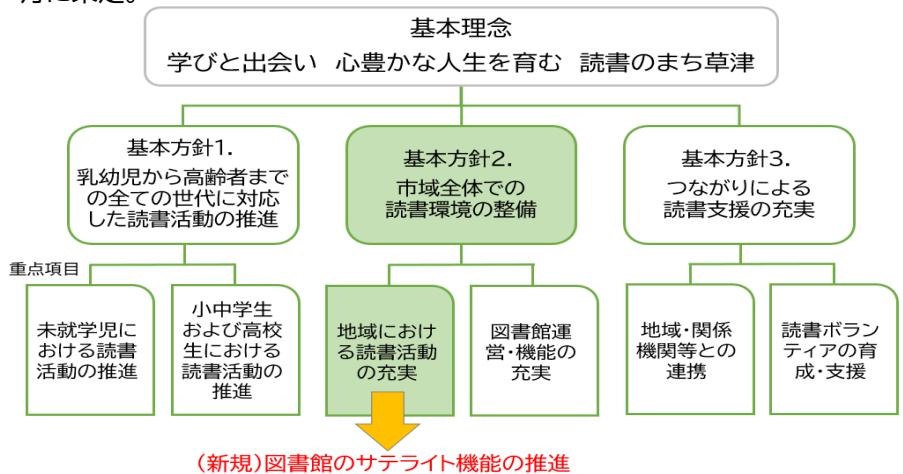


移動図書館「わかくさ号」
巡回の様子

1. 草津市読書のまち推進計画について

《計画策定の趣旨》

人生100年時代を迎え、市民誰もが読書に親しみ、生涯にわたり学び心豊かに過ごすことができる「読書のまち」を目指し、全世代・全市域で総合的に読書活動を推進するため、従来からある「草津市子ども読書活動推進計画」と「草津市の図書館運営計画」を内包した「草津市読書のまち推進計画」を7月に策定。



2. 図書館のサテライト機能とは

《目的》

地域まちづくりセンター・隣保館に読書ができるスペースを作るとともに、図書館に行かなくても地域で本を借りることができる仕組みを導入します。

身近な地域で気軽に読書ができる場と機会を整えることで、市域全体で読書を楽しむことができる環境づくりを進めます。

《背景》

読書に関する市民アンケートの結果から

- ・読書が好き・好きではない要因
⇒「身近な場所に本がある環境」の有無が影響
- ・どのようなことをすればもっと読書を行うか
⇒「身近な地域で本がある環境づくり」が大切である: 52.3%
- ⇒「読書を楽しめる場の提供」が大切である: 52.2%

《事業概要》

- ・地域まちづくりセンター・隣保館に本棚を置き、団体貸出により図書館から借りた100冊を本棚に配置
- ・本棚に配置した本はまちづくりセンターから利用者に貸出可能

3. 地域まちづくりセンター・隣保館での対応 依頼事項



4. 導入スケジュール

●サテライト機能導入順

	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
地域まちづくりセンター	志津南 老上西 常盤		
今後各センターと調整させていただきます			

- ・R7の地域まちセンは最寄りの図書館から遠い施設において導入
- ・R8以降は各センターの意向やリニューアルのスケジュールに合わせて譲

基本方針2 市域全体での読書環境の整備

基本方向7 図書館運営・機能の充実

基本施策⑪ 利用者支援サービスの充実

計画該当ページ P39

1. 事業概要

(1)目的・趣旨

今まで図書館を利用したことのない方の図書館来館のきっかけとなるように毎月第3土曜日にさまざまなイベントを行うことで、読書に関心のない人に興味を持ってもらい、図書館に親しみを持ってもらう契機となるようにします。

(2)展開方法

おはなしのじかん、おはなし会、ビブリオバトル、ビブリオトーク、読書講演会、えほんのひろば、あおぞら図書館、キッチンカー出店など、これまで行っていた行事やイベントを毎月第3土曜日に集約して行う。また、読書ボランティアや中高生、他課、他機関との連携も拡充していく。

(3)ポイント

- ・図書館DAYは令和7年11月3日(月・祝)から実施し、12月以降は毎月第3土曜日に実施する。
- ・第3土曜日に図書館に行けば、何かイベントをしているというイメージを定着させることで、来館の動機づけとする。

【参考】令和7年11月3日の図書館DAY

- ・ファッション&メイクコンサルタント谷口美佳さんの講演会
- ・ビブリオバトル
- ・書庫ツアー
- ・黒板アート
- ・絵本交換会
- ・キッチンカーやお店の出店
- ・キッズアート

2. 予算(令和7年度)

事業費 277千円

«内訳»

報償費 100千円
備品購入費 177千円

3. 今後の予定

令和8年度以降 図書館DAYの来場者数を増やす



ビブリオバトル



草津おはなし研究会による
子どものためのおはなし会と
大人のためのおはなし会



書庫ツアー



黒板アート



絵本交換会



キッチンカーやお店の出店



読書のまち推進事業
第1回図書館DAY講演会

図書館DAY（令和7年11月3日）の様子

基本方針3 つながりによる読書支援の充実

基本方向9 地域・関係機関等との連携

基本施策⑬ 地域の拠点施設・書店や団体との連携

計画該当ページ P42

1. 事業概要

(1)目的・趣旨

読書離れの進行と書店の閉業が加速する昨今においては、人と本が出合う経路として書店・図書館が連携して読書推進を行うことが求められ、経済産業省および文部科学省も事業支援を行っています。本市には7店舗の書店があり、各書店のニーズや客層に合わせた連携事業を展開することで、書店・図書館の両側から市民の読書活動を支え、読書人口を増加させることに寄与します。

(2)展開方法

- ・意見交換会議の定期開催(年3回)。

- ・令和7年度は、連携事業第1弾として「読書ポイント事業」に新ポイントステーションとして参加。

- ・図書館ビブリオバトルを書店内で開催。

(3)ポイント

- ・書店と図書館で相互に広報協力を図り、協働の関係づくりを行う。

- ・書店内でのイベント共催や読書推進キャンペーン等を開催する。

- ・市民活動とのコラボ展開が生まれるように仕掛けていく。

2. 予算(令和7年度)

事業費 66千円

«内訳»

消耗品費 66千円
(読書のまち草津広報代)

3. 今後の予定

令和8年度以降 イベント共催の機会を増やす
読書ポイント事業に体験型景品を提供いただく

読書ポイント事業フロー

- ①学校図書館や図書館
(移動図書館も含む)で本を借りる、または市内書店で本を買う。



書店内での図書館ビブリオバトル (9/20)